

# データ活用で進める業務連携

## 人材育成上の課題・目標

- ・社内各部署間や企業間の連携を進めるための手掛かりを知りたい
- ・社内各部署で作成したデータを社内で有効活用できるようにしたい
- ・企業間でもデータを連携できるようにしたい
- ・業務に必要なデータを整理したい



## 課題解決・目標達成を目指して

- ・データ活用が業務連携に寄与することを理解する
- ・業務連携するために必要な情報と仕組みを理解する
- ・連携のためのデータの種類と型を理解する
- ・目的に合ったデータの整理について理解する

## コースのねらい

所有するデータを経営資源として管理し、活用することで、社内外の業務の連携を強化できることを理解する。

## カリキュラム（例）

	基本項目	主な内容（例）
基本要素	■ データ活用の基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データと情報の違い</li> <li>・欲しい情報を得るためのデータ選別</li> <li>・データ活用のために必要なルール</li> <li>・データの種類と型、入力ルール</li> </ul>
	■ データマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの品質管理</li> <li>・データ管理のための統制</li> <li>・データの収集と蓄積</li> <li>・データの共有と連携</li> </ul>
	■ データ活用と業務の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内データの統合と管理</li> <li>・IT新技術を活用（IoT、クラウド、ビッグデータ）したデータ活用</li> <li>・データ活用による業務連携事例</li> </ul>
	演習（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社が所有するデータの把握</li> <li>・自社で連携可能なデータと業務連携の検討</li> </ul>
	応用・実践要素（例）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業間のデータ交換の形式と型（XML等）</li> <li>・サプライチェーンマネジメントにおけるデータ連携事例</li> </ul>

## 日程設定と受講料（例）

- (1) 1日（6時間）コース  
3,300円（税込）
- (2) 2日間（12時間）コース  
5,500円（税込）

- ※ 金額は、1名あたりの受講料です。
- ※ 6～30時間の間で設定可能です。

## 推奨対象者

中堅層、管理者層

## 関連コース

- A バックオフィス
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
  - ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入
  - ・ITツールを活用した業務改善
  - ・失敗しないシステム導入
  - ・企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解
  - ・企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント
- B 組織マネジメント
- ・成果を上げる業務改善
  - ・ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善
  - ・DX人材育成の進め方 ほか

※ 基本項目は必須としますが、主な内容や演習、応用・実践要素は、ご要望に応じてカスタマイズすることが可能です。  
なお、訓練時間によっては、上記の全ての内容を実施できるものではありません。